平成17年3月期 個別中間財務諸表の概要 平成 16 年 11 月 26 日

上場会社名 株式会社イトーヨーギョー

上場取引所 大証2部 コード番号 本社所在都道府県 兵庫県 5287

(URL http://www.itoyogyo.co.jp)

役職名 代表取締役社長 氏名 伊藤剛次

問合せ先責任者 役職名 管 理 部 長 氏名 近藤圭介 TEL (06)_4799 - 8850(代表)

決算取締役会開催日 平成 16 年 11 月 26 日 中間配当制度の有無 (有)・無

単元株制度採用の有無 (有)(1単元 1,000株)

1. 平成16年9月中間期の業績(平成16年4月1日 ~ 平成16年9月30日)

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。 (1)経営成績

		売 .	上高			営 業	利益		経常	常利 益	
Π		百万	円	%)	百万	万円	%	百万	万円	%
	16年9月中間期	8 4 1	(5.8)		1 2 7	()	6 9	()
	15年9月中間期	8 9 3	(9.3)		159	()	158	()
Ī	16年3月期	2.193	(9.6)		130	()	131	()

	中間(当期)紅	利益	1株当たり中間(当期)	純利益
	百万円	%	円	銭
16年9月中間期	8 2	()	2 5	3 6
15年9月中間期	2 7 5	()	8 0	6 6
16年3月期	3 7 5	()	111	1 4

期中平均株式数 16年9月中間期 3,243,300 株 15年9月中間期3,409,600 株 16年3月期 3,374,500 株 (注) 会計処理の方法の変更 有 · (無)

売上高,営業利益,経常利益,当期純利益におけるパーセント表示は,対前年中間期増減率

「潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益」は、「中間(当期)純利益」が損失のため記載しておりません。

(2)配当状況

	1株当たり 中間配当金	1株当たり 年間配当金
	円 銭	円 銭
16年9月中間期	0 00	
15年9月中間期	0 0 0	
16年3月期		15 00

(注) 平成16年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円 00銭

(3)財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株 当 た り 株 主 資 本	
	百万円	百万円	%	円 銭	
16年9月中間期	4,936	2,980	60.4	934 79	
15年9月中間期	4,996	3,332	66.7	989 24	
16年3月期	5,022	3,178	63.3	963 71	

(注) 期末発行済株式数 16年9月中間期 3,188,200 株 15年9月中間期 3,368,600 株 16年3月期 3,298,400 株 期末自己株式数 16年9月中間期 379,800 株 15年9月中間期 199,400 株 16年3月期 269,600 株

2. 平成17年3月期の業績予想(平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日)

	/	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり9	丰間配当金
		元 上 同	紅币利益	当 期代刊量	期末	
		百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通	期	2,280	1 0	3 0	10 00	10 00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 9円 24銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な 不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の7ページをご参照くださ ll.

9.中間財務諸表等

(1) 【中間財務諸表】

【中間貸借対照表】

			明会計期間末 5年9月30日			間会計期間末 16年 9 月30日)	要約	事業年度の 1貸借対照表 16年3月31日))
区分	注記 番号	金額(構成比 (%)	金額(構成比 (%)	金額(構成比 (%)
(資産の部)										
流動資産										
1 現金及び預金		306,150			568,889			369,252		
2 受取手形		352,534			304,706			578,386		
3 売掛金		284,181			269,037			316,630		
4 棚卸資産		679,682			754,387			638,196		
5 その他		100,755			32,668			46,678		
6 貸倒引当金		14,400			12,900			14,200		
流動資産合計			1,708,905	34.2		1,916,789	38.8		1,934,944	38.5
固定資産										
1 有形固定資産	1 2									
(1) 建物		838,863			784,319			810,446		
(2) 機械及び装置		284,117			275,870			260,981		
(3) 土地		1,424,580			1,424,580			1,424,580		
(4) その他		265,826			245,750			284,783		
計		2,813,388			2,730,520			2,780,792		
2 無形固定資産		3,654			2,352			2,721		
3 投資その他の資産										
(1) 投資有価証券		353,298			248,628			266,198		
(2) その他		152,263			75,086			71,574		
(3) 貸倒引当金		34,876			37,212			33,438		
計		470,684			286,502			304,334		
固定資産合計		_	3,287,727	65.8	_	3,019,376	61.2	_	3,087,848	61.5
資産合計			4,996,633	100.0		4,936,165	100.0		5,022,793	100.0

			間会計期間末 5年9月30日)		間会計期間末)	要約	事業年度の]貸借対照表 6年3月31日])
区分	注記 番号	金額(構成比 (%)	金額(構成比 (%)	金額(構成比 (%)
(負債の部)										
流動負債										
1 支払手形		70,318			61,344			89,373		
2 買掛金		59,162			77,582			77,587		
3 一年以内返済 長期借入金	2	200,000			240,000			180,000		
4 未払金		65,703			45,089			67,763		
5 未払法人税等		996			2,924					
6 賞与引当金		67,193			61,823			58,605		
7 その他	3	48,423			50,892			56,362		
流動負債合計			511,797	10.2		539,656	10.9		529,693	10.5
固定負債										
1 関係会社長期借入金		480,000			785,000			635,000		
2 役員退職慰労引当金		529,150			541,220			535,100		
3 退職給付引当金		42,980			41,179			46,895		
4 その他		100,357			48,818			97,406		
固定負債合計			1,152,487	23.1		1,416,218	28.7		1,314,401	26.2
負債合計			1,664,284	33.3		1,955,875	39.6		1,844,094	36.7
(資本の部)										
資本金			500,000	10.0		500,000	10.1		500,000	10.0
資本剰余金										
資本準備金		249,075			249,075			249,075		
資本剰余金合計			249,075	5.0		249,075	5.0		249,075	5.0
利益剰余金										
1 利益準備金		61,400			61,400			61,400		
2 任意積立金		2,897,208			2,475,971			2,897,208		
3 中間(当期) 未処理損失		234,759			45,260			334,776		
利益剰余金合計			2,723,849	54.5		2,492,111	50.5		2,623,832	52.2
その他有価証券 評価差額金	5		8,054	0.1		4,194	0.1		651	0.0
自己株式	4		148,631	2.9		256,701	5.2		193,557	3.9
資本合計			3,332,348	66.7		2,980,290	60.4		3,178,698	63.3
負債・資本合計			4,996,633	100.0		4,936,165	100.0		5,022,793	100.0

【中間損益計算書】

		(自 平)	中間会計期間 成15年 4 月 1 成15年 9 月30		(自 平)	中間会計期間 成16年 4 月 1 成16年 9 月30		要約(自 平)	事業年度の 引損益計算書 成15年4月1 成16年3月31	
区分	注記 番号	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
売上高	6		893,028	100.0		841,600	100.0		2,193,687	100.0
売上原価			540,464	60.5		503,204	59.8		1,341,905	61.2
売上総利益			352,564	39.5		338,395	40.2		851,782	38.8
販売費及び一般管理費			511,920	57.3		466,014	55.4		982,300	44.7
営業損失			159,356	17.8		127,619	15.2		130,518	5.9
営業外収益	1		63,814	7.1		71,046	8.4		97,593	4.4
営業外費用	2		62,892	7.0		13,349	1.6		98,781	4.5
経常損失			158,434	17.7		69,921	8.3		131,705	6.0
特別利益	3		716	0.1		3,508	0.4		17,557	0.8
特別損失	4		33,290	3.7		14,687	1.8		35,890	1.6
税引前中間(当期)純 損失			191,007	21.4		81,100	9.7		150,039	6.8
法人税、住民税 及び事業税		996			1,144			2,016		
法人税等調整額		83,003	83,999	9.4		1,144	0.1	222,970	224,986	10.3
中間(当期)純損失			275,007	30.8		82,244	9.8		375,025	17.1
前期繰越利益			40,248			36,984			40,248	
中間(当期)未処理損 失			234,759			45,260			334,776	

中間財務諸表作成の基本となる重要な事項

			T
項目	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
1 資産の評価基 準及び評価方 法	(1) 有価証券 子会社株式 移動平均法による原価 法	(1) 有価証券 子会社株式 同左	(1) 有価証券 子会社株式 同左
	その他有価証券 時価のあるもの 中間決算末日の市場価 格に基づく時価法(評価 差額は全部資本直入法に より処理し、売却原価は 移動平均法により算定し ております。) 時価のないもの	その他有価証券 時価のあるもの 同左 時価のないもの	その他有価証券 時価のあるもの 決算末日の市場価格に 基づく時価法(評価差額 は全部資本直入法により 処理し、売却原価は移動 平均法により算定してお ります。) 時価のないもの
	移動平均法による原価 法 (2) デリバティブ	同左 (2) デリバティブ	同左 (2) デリバティブ
	(3) 棚卸資産 商品、製品、原材料 総平均法による原価法	同左 (3) 棚卸資産 同左	(3) 棚卸資産 同左 同左
2 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定 育形固定 育形固定 育形 で で がはし、取得の で がはし、取得を除く)の で に の で に の の の の の の の の の の の の の	(1) 有形固定資産 同左 (2) 無形固定資産 同左	(1) 有形固定資産 同左 (2) 無形固定資産 同左
	に基づく定額法によっています。 (3) 長期前払費用 定額法によっております。	(3) 長期前払費用 同左	(3) 長期前払費用 同左
3 引当金の計上 基準	(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損 失に備えるために、一般 債権については貸倒実績 率により、貸倒懸念債権 等特定の債権については 個別に回収可能性を勘案 し、回収不能見込額を計 上しております。	(1) 貸倒引当金 同左	(1) 貸倒引当金 同左

	(2) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支 給に備えるため、支給見込 額基準により計上しており ます。	(2) 賞与引当金 同左	(2) 賞与引当金 同左
	A 9 .		
	(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備え るため、在籍従業員につい では、中間期末自己都といい では、額を退職金受ける方法直近の情者に算 では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	(3) 退職給付引当金同左	(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、 は、 期末付にでする方は、 期末付付者といいのは、 がは、 ののでは、 の
	(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給 に備えるため、内規に基づ く限度相当額を計上してお ります。	(4) 役員退職慰労引当金 同左	(4) 役員退職慰労引当金 同左
	リース物件のうち所有権が 借主に移転すると認められる もの以外のファイナンス・リ ース取引については、通常の 賃貸借取引に係る方法に準じ た会計処理によっておりま す。	同左	同左
方法	 (1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ (2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段: 為替予約 ヘッジ対象: 外貨建仕入 債務(予定 取引) (3) ヘッジ方針 外貨建取引による支払い 		 (1) ヘッジ会計の方法 同左 (2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段:通貨オプション 通貨金利スワップ ヘッジ対象:外貨建仕入債務 (3) ヘッジ方針 同左

	項目	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
		(4) ヘッジの有効性評価の方		(4) ヘッジの有効性評価の方
		法		法
		ヘッジ開始時から有効性		同左
		判定時点までの期間におい		
		てヘッジ対象とヘッジ手段		
		の相場変動の累計を比較		
		し、両者の変動額等を基礎		
		にして判断しております。		
6	その他中間財	消費税等の会計処理	消費税等の会計処理	消費税等の会計処理
	務諸表作成の	消費税等の会計処理は、税	同左	同左
	ための基本と	抜方式によっております。		
	なる重要な事			
	項			

注記事項

(中間貸借対照表関係)

前中間会計期間末 (平成15年9月30日)	当中間会計期間末 (平成16年9月30日)	前事業年度末 (平成16年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計	1 有形固定資産の減価償却	印累計 1 有形固定資産の減価償却累計
額	額	額
4,443,907千円	4,505,168	8千円 4,532,798千円
2 担保に供されている資産及び	2 担保に供されている資産	全及び 2 担保に供されている資産及び
これに対応する債務	これに対応する債務	これに対応する債務
(1) 担保に供されている資産	(1) 担保に供されている資産	筐 (1) 担保に供されている資産
千円		千円
建物 312,108	建物 28	39,851 建物 300,636
土地 497,202	土地 49	97,202 土地 497,202
計 809,311	計 78	計 797,839
(2) 上記に対応する債務	(2) 上記に対応する債務	(2) 上記に対応する債務
3 消費税等の取扱い	3 消費税等の取扱い	3
仮払消費税等及び仮受消費税	同左	
等は相殺して流動負債のその他		
に含めて表示しております。		

(中間損益計算書関係)

前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
1 営業外収益の主要項目	1 営業外収益の主要項目	1 営業外収益の主要項目
千円受取利息220受取利息20,528受取賃貸料12,473受取管理料4,360ボウリング場収益6,843匿名組合事業利益13,549雑収入5,838	年円受取利息287受取配当金18,713受取賃貸料10,851受取管理料4,560匿名組合事業利益15,387為替差益16,978雑収入4,268	千円グ取利息457受取利息20,528受取賃貸料22,940受取管理料8,920ボウリング場収益6,056匿名組合事業利益28,021雑収入10,668
受取配当金は上半期に集中し て発生しており、下半期発生見 込額は軽微であります。	受取配当金は上半期に集中し て発生しており、下半期発生見 込額は軽微であります。	
2 営業外費用の主要項目 千円 支払利息 7,068 為替差損 55,239	2 営業外費用の主要項目千円支払利息ボウリング場損失2,261	2 営業外費用の主要項目千円支払利息為替差損81,865
3 特別利益の主要項目 千円 投資有価証券売却益 66 役員退職慰労引当金 戻入 650	3 特別利益の主要項目 千円 投資有価証券売却益 3,508	3 特別利益の主要項目 千円 投資有価証券売却益 16,907 役員退職慰労引当金 戻入 650
4 特別損失の主要項目 千円 棚卸資産除却損 5,816 固定資産除却損 27,357 固定資産売却損 116	4 特別損失の主要項目 千円 棚卸資産除却損 7,360 固定資産除却損 7,326	4 特別損失の主要項目 千円 棚卸資産除却損 8,400 固定資産除却損 27,357 固定資産売却損 132
5 減価償却実施額 千円 有形固定資産 87,339 無形固定資産 914	5 減価償却実施額 千円 有形固定資産 74,690 無形固定資産 351	5 減価償却実施額 千円 有形固定資産 176,335 無形固定資産 1,865
6 過去1年間の売上高 当社の売上高は、季節変動が あり、事業年度の上期と下期と の間に著しい相違があります。 なお、当中間会計期間に至る 1年間の売上高は、次のとおり であります。 千円 前事業年度の 下期の売上高 1,441,255 当中間期の売上高 893,028 計 2,334,284	6 過去1年間の売上高 当社の売上高は、季節変動が あり、事業年度の上期と下期と の間に著しい相違があります。 なお、当中間会計期間に至る 1年間の売上高は、次のとおり であります。 千円 前事業年度の 下期の売上高 1,300,658 当中間期の売上高 841,600 計 2,142,259	6

(リース取引関係)

前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)

リース物件の所有権が借主に移転 すると認められるもの以外のファイ ナンス・リース取引

1 リース物件の取得価額相当額、 減価償却累計額相当額及び中間期 未残高相当額

	取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	中間期末 残高 相当額 (千円)
車両 運搬具	3,420	1,539	1,881
工具器 具及び 備品	27,316	14,675	12,641
ソフト ウェア	13,553	8,158	5,394
合計	44,289	24,372	19,916

なお、取得価額相当額は、未経 過リース料中間期末残高が有形固 定資産の中間期末残高等に占める 割合が低いため、支払利子込み法 により算定しております。

2 未経過リース料中間期末残高相 当額

	千円
1 年内	8,444
1 年超	11,472
合計	19.916

なお、未経過リース料中間期末 残高相当額は、未経過リース料中 間期末残高が有形固定資産の中間 期末残高等に占める割合が低いた め、支払利子込み法により算定し ております。

3 支払リース料及び減価償却費相 当額

	千円
支払リース料	4,222
減価償却費相当額	4 222

4 減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残 存価額を零とする定額法によって おります。 当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)

リース物件の所有権が借主に移転 すると認められるもの以外のファイ ナンス・リース取引

 リース物件の取得価額相当額、 減価償却累計額相当額及び中間期 未残高相当額

	取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	中間期末 残高 相当額 (千円)
車両 運搬具	3,420	2,223	1,197
工具器 具及び 備品	27,316	19,725	7,591
ソフト ウェア	13,553	10,869	2,683
合計	44,289	32,817	11,472

同左

2 未経過リース料中間期末残高相 当額

		千円
1 年内		7,500
1 年超		3,971
合計		11,472
	同左	

3 支払リース料及び減価償却費相 当額

千円 支払リース料 4,222 減価償却費相当額 4,222

4 減価償却費相当額の算定方法 同左 前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

リース物件の所有権が借主に移転 すると認められるもの以外のファイ ナンス・リース取引

 リース物件の取得価額相当額、 減価償却累計額相当額及び期末残 高相当額

	取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	期末残高 相当額 (千円)
車両 運搬具	3,420	1,881	1,539
工具器 具及び 備品	27,316	17,200	10,116
ソフト ウェア	13,553	9,513	4,039
合計	44,289	28,595	15,694

なお、取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。

2 未経過リース料期末残高相当額

	千円
1 年内	8,309
1 年超	7,384
合計	15,694

なお、未経過リース料期末残高 相当額は、未経過リース料期末残 高が有形固定資産の期末残高等に 占める割合が低いため、支払利子 込み法により算定しております。

3 支払リース料及び減価償却費相 当額

千円

支払リース料 8,444 減価償却費相当額 8,444

4 減価償却費相当額の算定方法 同左